



おいしい給食に感謝しよう

あけましておめでとうございます。

みなさん、お正月はどのように過ごしましたか？今年はおうちでゆっくり過ごした人も多いのではないのでしょうか？

長い休みのときは生活リズムがくずれてしまうことがあります。早寝早起きを心がけ、生活リズムと体調を整えていきましょう。

2023年も安心・安全な給食づくりを心がけていきます。どうぞよろしくおねがいいたします。



あけましておめでとうございます



1月23日～27日まで
がっこうきゅうしょくしゅうかん
学校給食週間が始まります！！

第二次世界大戦のあと、ユニセフなどからの支援をうけ、戦争で中断していた学校給食を再開したのが、昭和21年12月24日でした。この日を記念して、「学校給食感謝の日」が設けられました。しかし、この日は全国的に冬休みになるため、その一か月後の1月24日を給食記念日とし、その日から1週間を学校給食週間としています。

明治22年ころの給食(給食が始まったころ)



おにぎり、焼き魚、漬け物



今の給食にくらべて少ないなあ。

学校給食の歴史

年号	昭和	昭和	昭和	昭和	平成	平成	平成
年号	二十二年	二十七年	二十八年	二十九年	二十年	二十一年	二十二年
山形県の忠愛小学校で学校給食が始まる。	このころの学校給食は、それぞれの家庭から持ちよった米や野菜で作られていた。	国からの補助金により、学校に采られない子や体の弱い子を救うために各地で学校給食が始まる。	戦争がはじまり、食糧不足のため各地で学校給食が中止される。	救済団体やユニセフから、小麦粉、脱脂粉乳、缶詰などが送られ、学校給食が再開される。	学校給食法が制定される	学校給食法が改正される。	学校給食の目標が栄養補給から食育へ

給食の流れ

学校給食の果たす役割は変わってきています！！

昔：栄養改善
⇒⇒⇒ **今：食育**

給食を通して、自分の食生活や健康を見つめ考える食育の場へと変化しています・・・。

給食が食べられることは、当たり前ではありません。生産者のかた、食材を運んでくださるかた、作ってくださるかた、たくさんの人の協力があり、食べることができるのです。

「いただきます」と感謝の気持ちをこめたい気持ちを心げましょう。

